

『制裁論を超えて』出版記念シンポジウム

NGOはいま何をすべきか

—— 人道と制裁のはざま ——

「北朝鮮問題」は、核や拉致ばかりでなく、日本の植民地支配、歴史認識、戦後補償、安保問題などの複合的な問題がからんでいます。単に日朝関係のみではない朝鮮半島と日本、ひいては東アジアの未来をいかに展望するかが問われています。

日朝平壤宣言5周年を経たいま、これらの問題をめぐる意見交換と共同の議論を深め、制裁ではなく〈連帯〉を模索するために、『制裁論を超えて——朝鮮半島と日本の〈平和〉を紡ぐ』（新評論、2007年）を手がかりに、NGOの課題をともに考えたいと思います。

皆さんのご参加を呼びかけます。

●日時 10月27日(土) 18:00～21:00 (17:30開場)

●会場 東京しごとセンター 5階 第2セミナー室

(東京都千代田区飯田橋3-10-3 ☎03-5211-2307)

[アクセス <http://www.shigotozaidan.jp/map.html>]

●資料代 500円

♡♡♡パネラー♡♡♡

川崎 哲さん (ピースポート)

金 朋央さん (在日コリアン青年連合)

中野憲志さん (先住民族・第四世界研究)

藤岡美恵子さん (法政大学講師)

主催 平和カフォーラム

(東京都八王子市宇津貫町1556 東京造形大学・前田研究室 電話 042-637-8872 E-mail maeda@zokei.ac.jp)

協賛 新評論 週刊金曜日 在日朝鮮人・人権セミナー

北朝鮮人道支援ネットワーク (ハンクネット)

反差別国際運動日本委員会 (IMADR-JC) 在日コリアン青年連合 (KEY) 東京

